UNIVERSITY OF OCCUPATIONAL AND ENVIRONMENTAL HEALTH, JAPAN

産業医科大学

産業医科大学
産学連携・知的財産本部

研究成果を産業界等に積極的に技術移転することを通じて社会貢献に努めます。

UOEH2025

University of Occupational and Environmental Health, Japan
School of Medicine
School of Health Sciences
Department of Nursing
Department of Occupational Hygiene
Institute of Industrial Ecological Sciences

研究支援課

〒807−8555
北九州市八幡西区医生ケ丘1番1号
TEL：093-603-1611(代表)

電話 093(280)0532
FAX 093(691)7518
Email: chizai@mbox.pub.uoeh-u.ac.jp
https://www.uoeh-u.ac.jp/

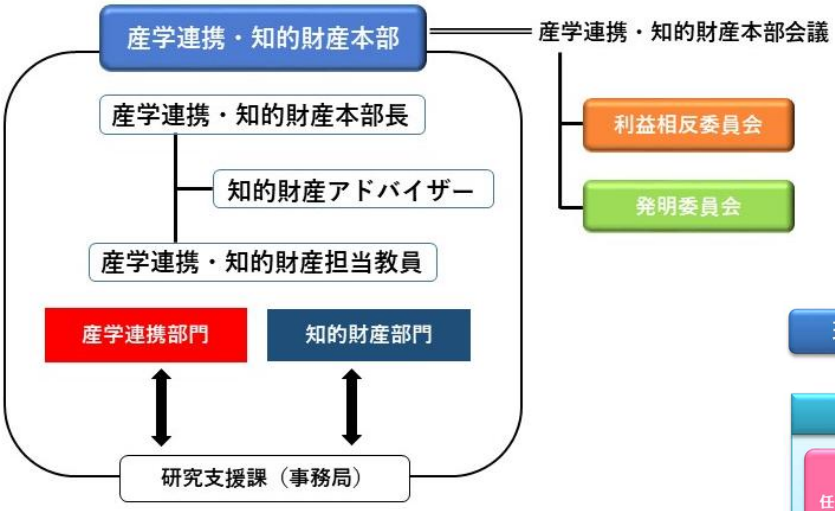
UNIVERSITY OF OCCUPATIONAL AND ENVIRONMENTAL HEALTH, JAPAN

研究成果を産業界等に積極的に技術移転することを通じて社会貢献に努めます。

産学連携・知的財産本部

産学連携・知的財産本部は、発明の一元管理・迅速処理を実現するとともに、外部機関の積極活用により、幅広い産学連携、技術移転の促進を図っています。また、産学連携・知的財産本部では、本学の研究シーズと企業等の求める技術ニーズとをマッチングさせ、受託研究及び共同研究を推進しています。

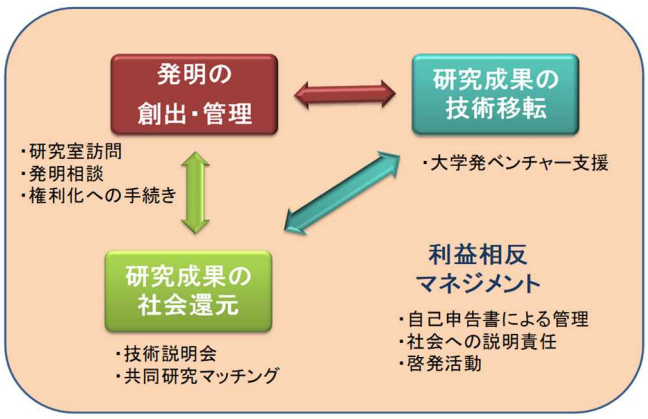
産学連携・知的財産本部の組織



産業医学および産業保健分野の学術研究を積極的に推進し、その成果としての知的財産を広く産業界や社会で活用することを目的として、産学連携・知的財産本部を設置しました。組織の構成としては、学長直轄の全学組織として、産学連携・知的財産本部の下に発明委員会及び利益相反委員会を置き、これらの事務を研究支援課が行います。

任務と構成

産学連携・知的財産本部の取り組み



産業医科大学

〒807-8555　北九州市八幡西区医生ヶ丘１番1号
TEL：093-603-1611（代表）

問い合わせ先：研究支援課
TEL: 093(280)0532
FAX: 093(691)7518
E-mail: chizai@mbox.pub.uoeh-u.ac.jp

UNIVERSITY OF OCCUPATIONAL AND ENVIRONMENTAL HEALTH, JAPAN

知的財産の創造と効果的な活用をめざします

知 的 財 産

産業医科大学は、研究成果の社会的還元を図るため、産学連携を一層進展させることを目指します。これを実現するため、本学における知的財産の創造と効果的な活用により、総合的な産学連携活動を通じて、質の高い知的財産の運営・管理に努めます。

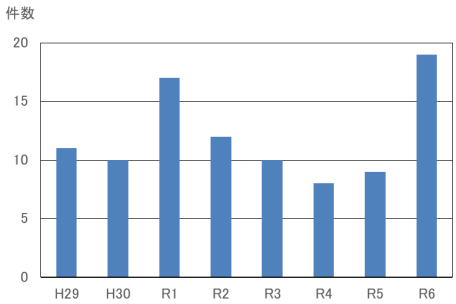
知的財産の創出

本学の使命である産業医学の発展に寄与するために精力的に研究が進められています。

これまで、創薬、医療機器、産業医学などの分野において、新技術が創出されてきました。

今後は産学連携活動を通じて、市場のニーズを見据えた知的財産の創出が見込まれます。本学の知的財産のいくつかをご紹介します。

特許等出願実績



ヘルスケア機器

・リストバンド型ウエアラブルデバイス
（特願2021-545588）
・産業保健学部人間情報科学
・ミツフジ㈱　製造・販売

医療機器

・内視鏡先端フード　スケールキャップ
（意匠第1472204号）
・医学部第3内科学
・㈱アビス　製造・販売

医療機器

・単孔式腹腔鏡下外科手術用プラットフォーム（意匠登録第1444851号）
・医学部第1外科学
・㈱八光　製造・販売

啓発教育

知的財産の目標および戦略を策定し、知的財産の創出・保護・活用の環境を整備するとともに、知的財産に関する教育および啓発活動を行っています。

講座等訪問

知的財産アドバイザーと担当教員が各講座等を訪問し、個別相談に応じるほか、進行中の研究内容について知的財産創出の面から助言を行い、又は権利実施の可能性等について意見交換するなど、特許出願のみならず研究プロジェクト立案、共同研究のコーディネートなどに努めています。

産業医科大学　産学連携・知的財産本部

〒807-8555　北九州市八幡西区医生ヶ丘１番1号
TEL：093-603-1611（代表）

問い合わせ先：研究支援課

TEL: 093(280)0532
FAX: 093(691)7518
E-mail: chizai@mbox.pub.uoeh-u.ac.jp

UNIVERSITY OF OCCUPATIONAL AND ENVIRONMENTAL HEALTH, JAPAN

産学連携活動を効果的に推進し、我が国の産業医学と産業保健の発展に寄与します

産 学 連 携

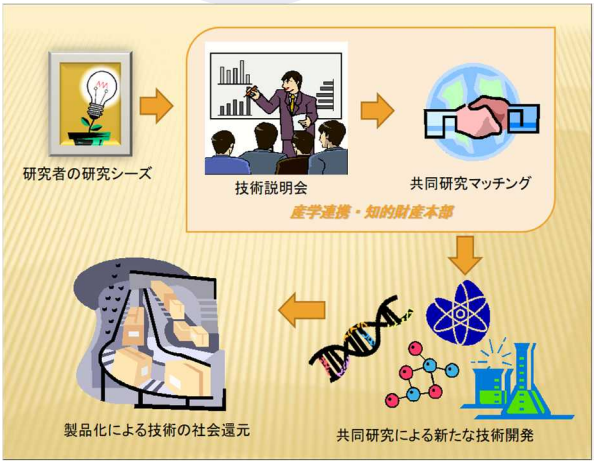
産業医科大学では、産業医学及び産業保健分野の学術研究を積極的に推進し、その成果としての知的財産を広く産業界や社会で活用するため、積極的に産学連携に取り組んでいます。

技術説明会での発表

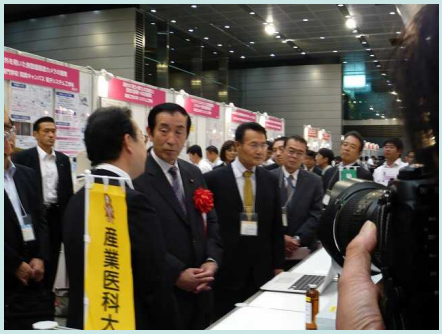
共同研究や受託研究など産学連携・医工連携のきっかけをつくるため、新技術説明会、DSANJ等へ参加して教員によるシーズ説明を行ったり、自治体や技術協議会からの講演要請に対しては、産学連携・知的財産担当教員が応じています。

共同研究のマッチング

研究シーズと企業等の求める技術ニーズのマッチングを図り、共同研究による新たな技術開発をめざします。



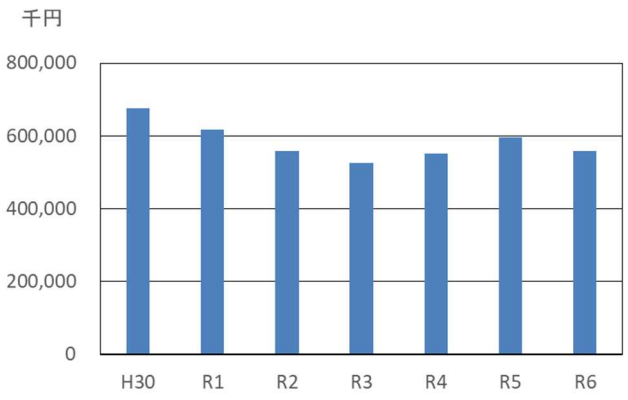
マッチングイベントへの出展



イノベーションジャパン、BioJapan 等に出展し、マーケティング活動を行っています。その上で優れた研究成果については、企業に直接アプローチして、事業化や共同研究につなげています。

研究資金獲得の実績

企業等からの共同研究・受託研究、奨学寄附金など各種研究資金の獲得に努めています。



産業医科大学　産学連携・知的財産本部

〒807−8555　北九州市八幡西区医生ヶ丘１番1号
TEL：093-603-1611（代表）

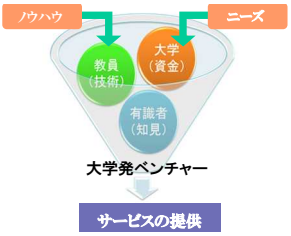
問い合わせ先: 研究支援課

TEL: 093(280)0532
FAX: 093(691)7518
E-mail: chizai@mbox.pub.uoeh-u.ac.jp

UNIVERSITY OF OCCUPATIONAL AND ENVIRONMENTAL HEALTH, JAPAN

学術成果を産業界等に積極的に技術移転することを通じ、本学における教育と研究の社会的付加価値を高めます

研究成果の技術移転



本学における優れた研究成果のうち、社会のニーズに合致するものについて、より柔軟かつ直接的にサービスを提供していくことが重要と考えております。そこで、大学発ベンチャーを設立し、その成果を広く社会に還元することをめざしています。

大学発ベンチャーの設立

学校法人産業医科大学、本学教員及び学外の有識者が、資金、技術及び知見を出し合い、大学で生まれた研究成果を主たる創業技術として、二つの大学発ベンチャーを設立しました。これらのベンチャーは、本学の「働く人の健康を守る」という理念の基に、蓄積された学術的考察を生かしてサービスを提供し、社会の発展に広く貢献することを目的としています。

(株)UOEH'S
(株式会社 産業医大ソリューションズ)

サービスの内容

企業人事部門向けコンサルティング

1. ストレスチェック制度への対応の支援
2. 不調者対応(職場復帰支援プログラム)の体制・仕組みづくりと運営の支援
3. 職場環境改善、人材・組織活性化の支援、危機管理対策の体制・仕組みづくりの支援
4. 健康管理体制の再構築の支援
5. その他

職場の健康管理をベースとする各種講演・研修

企業経営層、幹部、管理職、従業員向けに以下のテーマで実施

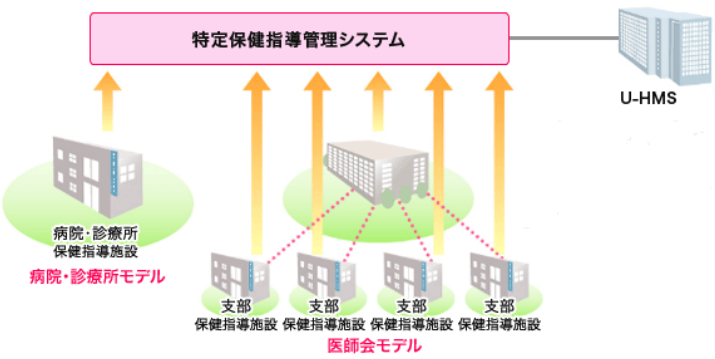
a. メンタルヘルスマネジメント、ストレスケア・ストレスマネジメント
b. 職場環境改善、人材・組織活性化、危機管理対策
c. その他

有料職業紹介

産業医学についての知識・経験に優れ、質の担保された産業医等のご紹介

(組)U-HMS
(産業医科大学ヘルスマネジメントシステム有限責任事業組合)

特定健診及び特定保健指導においてWebを介してデータを蓄積・解析し、指導内容から保険請求までをトータルに行うサービスを提供します。



研究に基いて開発したレセプト分析の手法を活用して保険者や自治体の事業改善の取り組みを支援します。

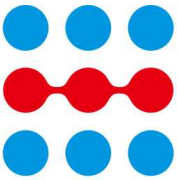
本学マスコットキャラクター
ラマティー

産業医科大学　産学連携・知的財産本部

〒807-8555　北九州市八幡西区医生ヶ丘１番１号
TEL：093-603-1611(代表)

問い合わせ先：研究支援課

TEL: 093(280)0532
FAX: 093(691)7518
E-mail: chizai@mbox.pub.uoeh-u.ac.jp



産業医科大学